

【モデルケース(大学と大学院修士課程)】返還方式による返還例の比較

所得連動返還方式

返す月額を毎年見直し

所得に応じた月額で返還

大学と大学院でそれぞれ借りた分ごとに

- 例 年収:300万円 → 月額:約 8,600円
→ 大学と院で月額 17,200円
- 年収:450万円 → 月額:約 15,400円
→ 大学と院で月額 30,800円

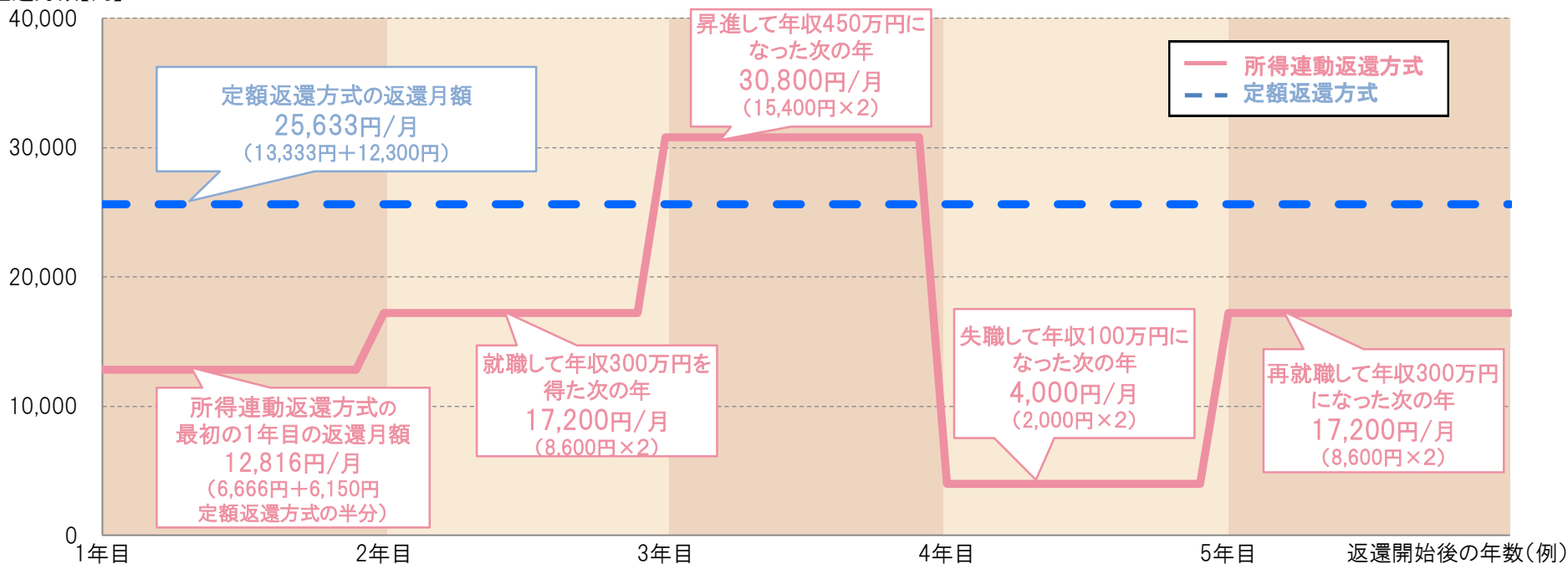
定額返還方式

返還完了まで返す月額が同じ

借りた総額に応じた月額で返還

- 例 大学で5万円を4年間(240万円)借りた場合
→ 月額:約 13,333円(15年間)
- 大学院で8万円を2年間(192万円)借りた場合
→ 月額:約 12,300円(13年間)
→ 大学と院で月額 25,633円

返還月額【円】



※所得連動返還方式の返還月額は前年の収入(所得)により変動し、収入が少なければ返還期間が長くなり、多ければ短くなります。返還総額はどちらの返還方式も同じです。

※年収と返還月額は目安です。定額返還方式の返還月額は貸与総額に応じて決まります。

※第一種奨学金のみ返還方式を選択することができます。第二種奨学金は定額返還方式で固定されます。